

(参考情報)

事項	「青台3」台木を用いたりんご果実のカルシウム濃度		
ねらい	りんごわい性台木の「青台3」は、「つがる」、「ジョナゴールド」及び「王林」で使用するとビターピットが発生しやすいが、この要因は不明であった。 今回、「青台3」を台木に用いた場合の果肉中カルシウム濃度の特性が明らかとなったので、参考に供する。		
指導参考内容	「青台3」を台木に用いた場合、「JM7」、「M.26」及び「M.9EMLA」を用いた場合よりも、果面付近の果肉中カルシウム濃度が低い。		
期待される効果	栽培上の参考となり、安定生産が図られる。		
利用上の注意事項	1 本結果は「王林」果実の分析に基づくものである。 2 「王林」、「つがる」及び「ジョナゴールド」に「青台3」を用いた場合、カルシウム剤を散布することでビターピットが軽減できることは既に報告済みである。カルシウム剤の散布方法に関しては、りんご生産指導要項を参考にする。カルシウム剤の散布効果に関しては、平成23年度指導参考資料を参考にする。		
問い合わせ先 (電話番号)	りんご研究所 栽培部 (0172-52-2331)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成22年度 試験成績概要集 (りんご研究所) 東北農業研究 第64号		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 台木別「王林」果肉中の無機成分濃度 (平成21~22年 青森りんご研)

台 木	果実重 (g)	果肉上部				果肉下部			
		Ca	Mg	K	Ca/(Mg+K)	Ca	Mg	K	Ca/(Mg+K)
		(mg/100gDW)			(me/100gDW)	(mg/100gDW)			(me/100gDW)
青台3	272	18.9 b	22.4 b	521 c	0.06 b	12.2 b	21.1 bc	487 c	0.04 c
JM7	268	25.5 a	22.7 b	514 c	0.09 a	16.8 a	19.9 c	444 c	0.07 a
M. 26	294	24.6 a	26.4 a	627 b	0.07 b	16.6 a	23.4 a	556 b	0.05 b
M. 9EMLA	296	28.3 a	25.9 a	690 a	0.07 b	18.5 a	22.8 ab	609 a	0.05 b

- (注) 1 n=11。異符号間にはチューキー多重比較検定により5%水準で有意差あり。
 2 分析果実は全て健全果である。分析した果肉部位は図1に準ずる。

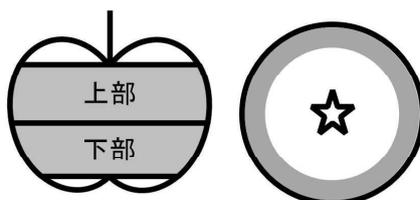


図 1 分析果肉部位 (灰色部分)

(注) 果皮は1mmの厚さで除去。果肉は果面から1cmの厚さ。